

## 住民意見募集（パブリックコメント）の結果 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（案）及び地域省エネルギービジョン（案）

地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（案）及び地域省エネルギービジョン（案）について、パブリックコメントを実施したところ、次のとおりご意見をいただきましたので、町の考え方など概要についてお知らせします。

募集期間 12月25日～1月25日  
意見提出件数 1名 1件

### 意見

わからないことの多い実態のなかで、まずは大人も子供も同時に学んでいける体制をつくりたいと思います。

国内、国外でもすでに積極的に行政指導で取り組んでいるところも多いようですが、その実態を知ることも大切だと思います。その上で、私が知る限り最も効率よく、また設備そのものが小さく工事費なども最小のものとして、ゼファー株式会社の開発による「風力・太陽光ハイブリッド発電システム」といものがあります。

道内では七飯町が役場の屋上に設置しているようです。もっと増えているかもしれません。これまで風力と言うと海岸沿いに並んでいる巨大な物を思い浮かべますが、この会社で開発されたのはすごく小型のものです。その上、わずかの風力をもエネルギーに返還できるものらしいです。私の「風力発電は風の強い地域のもの」という固定観念は間違っていることも思い知らされました。

小学校、中学校、高校…夫々全校といかなくても各年代での学び方を模索するのはどうでしょうか。

さらに役場にも1台設置し、どのくらいの風で、またはお天気でどの位のエネルギーを得ることができるか、目にみえる形が必要だとも思います。なぜ学校かということは、これからの時代を担う子供たちこそ自主的にエネルギー問題を大人の押し付けでなく、取り組む体質そのものを身につけられるだろうと思うからです。

この話を各界の何人かにしてみたのですが、「雪があるからね」「上富良野町の学校は防衛省からの補助をもらっているから校舎に傷を付けられない」などのご意見もうかがいました。ですが、雪のある場合はほんとうにダメなのか、設置とは、校舎に傷をつけるものなのか、様々な心配やわからないことを素人判断ではなく、専門家に聞いていただき、説明を受けてみてはいかがでしょうか。

その上で、町全体としてどのような取り組みに広げていくことが可能なのかも見えてくると思います。

わが町が一日も早く具体的な取り組みの一步を踏み出せることを願います。

### 町の考え方

ご意見にありました、学ぶということは、大人も子供も生涯に渡りとても大切なこと

ですので、町としても色々な形で積極的に町民の皆さんへ「エコ」に対する情報の提供や家庭で取り組める二酸化炭素の排出量削減についての情報提供をできるだけ判りやすい手法で行っていきたいと考えています。

また、国が太陽光などクリーンエネルギーや歴史遺産といった地元の資源を官民連携で最大限に活用して、地域の活性化につなげる取組みに着手していることから、町としても平成 22 年度に新エネルギービジョンを策定する予定です。その中で、風力や雪利用、太陽光、地熱など、町内において利用可能な新エネルギーを模索しながら、具体的な取組みの検討、課題の把握などを行っていきます。ご意見にありました「風力・太陽光ハイブリッド発電システム」も省エネにむけて脚光をあびている設備の一つであることから、今後は新エネルギーの選択肢の一つとして検討したいと考えます。